

2025年10月22日

株式会社東陽テクニカ

XenomatiX 社製・カメラ連携型 LiDAR の販売開始 プライバシーに配慮した交通流監視やスマートシティでのインフラ管理を支援

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也、以下東陽テクニカ)は、2025年10月22日、XenomatiX N.V.(本社：ベルギー、以下 XenomatiX 社)の周辺環境計測システム「XenoLidar Xavia」(「Xavia 6D」と「Xavia 3D」の2モデル^{※1})を販売開始いたします。本製品は、色付き 3D 点群データによる高精度かつプライバシーに配慮した監視・計測を可能にし、スマートシティにおける車両・歩行者検知をはじめ、交通流監視やインフラ管理など、幅広い分野の安全で効率的な運用管理を支援します。



「XenoLidar Xavia」Xavia 6D モデル。カメラ(左)と LiDAR(右)が連携

※1 「Xavia 6D」モデル：カメラと LiDAR が連携 「Xavia 3D」モデル：LiDAR 単体

【 背景／概要 】

近年、日本国内では少子高齢化および物流業界の人手不足などを背景に、自動運転の実現を見据えた道路網の整備と精緻な交通流の調査・分析体制の整備が進められています。こうした取り組みの中で、ドライバーや歩行者のプライバシーに配慮した観測技術の導入が求められています。一方、自動運転技術の実用化が先行するヨーロッパでは、肖像権に関する規制強化を受け、交通流監視においても画像ではなく点群データによる計測が求められ、XenomatiX 社はその分野で実績と知見を蓄積しています。

今回発売する「Xavia 6D」モデルは振動に強い堅牢設計の True Solid State 構造の LiDAR^{※2}とカメラを組み合わせた製品で、ヨーロッパでの交通流監視において、すでに点群での撮影機材として導入されています。LiDAR 単体では取得できない色付き 3D 点群データを生成できることで、高精度な空間認知と高解像度の検知が可能となります。また、XenomatiX 社独自の Advanced Reflector Handling(ARH)技術により、反射率が異なる対象物を同時に検知します。例えば交通流監視では、ナンバープレートや交通標識などの高反射体の影響を受けることなく、黒い車両や暗い色の服を着た歩行者などの低反射体を捉えることができます。また、人が立ち入ることのできない悪路や構造物の中などの特殊な環境においては、ロボットやドローンなどに搭載して状態を監視することも可能です。

東陽テクニカは、「XenoLidar Xavia」の提供を通じて幅広い分野における安全で効率的な監視の実現を支援してまいります。

※2 LiDAR : Light Detection and Ranging。レーザー光を用いて対象物の距離や形状を計測する技術

True Solid State 構造の LiDAR : 可動部、回転機構を持たない LiDAR

【「XenoLidar Xavia」の主な特長】

- ・True Solid State 構造で可動部分と回転機構がないことによる高い堅牢性
- ・測定間の隙間がなく、すべての情報を検知可能
- ・時間帯や天候に左右されず、最大 140 メートル先の対象物と数センチメートル先の近距離を同時計測可能
- ・ARH 技術により反射率が異なる対象物を検知可能
- ・ソフトウェア開発に必要なツールが充実しており、Windows や Linux 環境での開発が可能
- ・LiDAR とカメラのセンサーフュージョンで色付き点群データと高度な空間認識を実現(「Xavia 6D」モデル)

【製品データ】

- ・製品名 : 周辺環境計測システム「XenoLidar Xavia」
- ・販売開始日 : 2025 年 10 月 22 日
- ・販売価格 : 要お見積
- ・製品ページ : <https://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/xavia.html>

<XenomatiX N.V.について>

2013 年設立の XenomatiX 社は、可動部を持たない True Solid State LiDAR 技術を核に、車両、インフラ、産業分野向けの高精度 3D センシングソリューションを提供しています。自動運転や先進運転支援システム (ADAS) の研究開発に用いられる LiDAR のほか、路面形状の計測に特化した路面形状計測システム「XenoTrack」などを販売しており、欧州を中心にグローバルに事業を展開しています。

XenomatiX N.V. Web サイト : <https://xenomatix.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンスなど多岐にわたり、クリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資や M&A による成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ

TEL : 03-3279-0771(代表) / E-mail : marketing_pr@toyo.co.jp

製品ページ : <https://www.toyo.co.jp/mecha/products/detail/xavia.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。